

福岡県民と医師をつなぎ、あしたの健康へとつなぐ

EGAO
KARA
medical book

えがおから

医療ブック

vol.19
2020
WINTER



感染症予防のために知っておきたい
ワクチン接種の重要性

インタビュー

日本医師会名誉会長 横倉義武さん

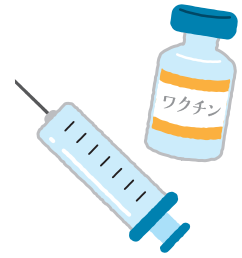
「人の気持ちに寄り添い地域の暮らしを支える医療へ」



福岡県医師会

感染症予防のために
知っておきたい

ワクチン 接種の 重要性



新型コロナウイルス感染症の拡大で、以前にも増して「感染症」が身近な問題として捉えられるようになり、ワクチンの開発も大きな話題となっています。

しかし、私たちが注意すべき感染症は新型コロナウイルス以外にもたくさんあります。それらから身を守るためにできること。ワクチンの必要性についてみていきましょう。

感染症って
どんな病気？

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体の中に侵入して増殖し、悪さをする病気のことです。寒くなると流行するインフルエンザのほか、風疹や麻疹、水ぼうそうなどさまざまな感染症があり、それぞれ症状や特徴が異なります。発熱や下痢、発疹や咳などの症状が出たり、重症化することで命に関わるもの、後遺症が残るもの、あるいは妊娠中の女性がかかることでお腹の赤ちゃんに障害を引き起こすこともあります。

感染症には人からうつるものだけでなく、動物や昆虫、自然環境から感染するものもあり、予防するにはそれぞれに応じた対策が必要です。

ワクチン接種
という予防法

私たちができる対策の中で、**もっとも有効な手段のひとつがワクチンの接種です。**私たちが、感染症に一度かかると体の中に抵抗力ができ、再度同じ病原体が侵入した際、その病原体を攻撃する仕組みが備わる「免疫」というシステムがあります。この「免疫」の力を利用するのがワクチン。病原体を無毒化したり、あるいは弱毒化して投与することで、免疫を獲得するのです。

それぞれの感染症に対応したワクチンの開発により、昔に比べて感染症のリスクは大きく改善されました。自らの予防はもちろん、周囲に感染をひろげないためにも、ワクチン接種はとても大切です。

定期予防接種では 対象年齢を しっかりチェック

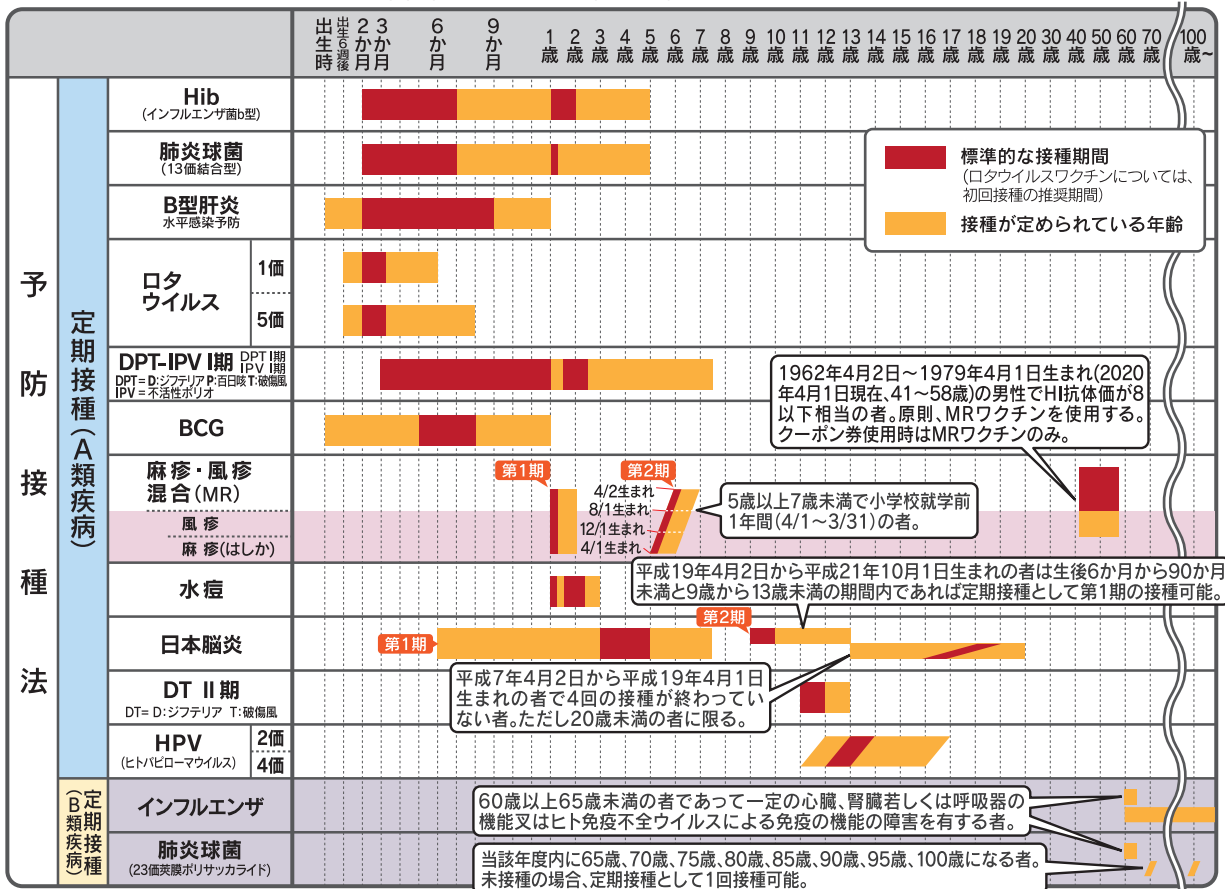
ワクチンの予防接種には定期接種と任意接種があります。

定期接種は、法律に基づいて市区町村が主体となって実施するもので、無料で受けられるものがほとんどです。ワクチンの種類によって接種の年齢が定められており、また何回かの接種が必要なものもあるので、きちんとスケジュールを立てて忘れずに受けることが重要です。

また、任意接種の場合は自己負担とはなりませんが、希望すれば年齢に関わらず受けることができます。定期接種の時期を逃してしまった場合や、そのほか予防したい感染症がある場合、まずはかかりつけ医に相談してみてください。

日本の定期予防接種スケジュール

2020年10月1日現在



予防接種スケジュールの詳細については、**NIID 国立感染症研究所/日本の予防接種スケジュール**のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/vaccine-j/2525-v-schedule.html>

出典：国立感染症研究所 感染症情報センター

PICK UP!!

異なるワクチンを接種する際の接種間隔のルールが変わりました!

ワクチンには「注射生ワクチン」「経口生ワクチン」「不活化ワクチン」という3種類があります。「注射生ワクチン」の接種後は27日以上の間隔をおかなければ、「注射生ワクチン」の接種を受けることはできませんが、それ以外のワクチンの組み合わせでは、前のワクチン接種からの間隔にかかわらず、医師が認める場合、次のワクチンの接種を受けることができます。

27日

注射生ワクチン接種後…27日以上の間隔をおかなければ次の注射生ワクチンの接種を受けることはできません

注射生ワクチンは接種不可

注射生も接種可能

経口生・不活化ワクチンを接種可能

接種間隔に制限はありません(経口生・不活化ワクチンを接種する場合)

経口生ワクチン

不活化ワクチン

次のワクチンを接種可能

接種間隔に制限はありません

今、注目の ワクチンとは

感染症を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことがとても重要。そのためにはひとりひとりが、ワクチンを効果的に活用しながら予防に努めることが大切です。定期接種ワクチンの中で今特に注目したい、3つのワクチンをご紹介します。

なるほど！



この10年ほどで、日本の予防接種環境は大きく改善されてきたんですよ



2020年10月から
定期接種に導入

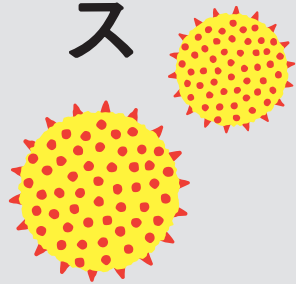
ロタウイルス

ロタウイルスって？

主に急性胃腸炎を起す原因となるウイルスです。特に乳幼児がかかりやすく、5歳までにほぼすべての子どもが感染すると言われており、水のような下痢、吐き気、嘔吐(おうと)、発熱、腹痛などの症状が出るほか、場合によってはけいれんや脳炎を引き起こすこともあります。

世界ではもう既に多くの国々で定期接種に導入されていましたが、日本でも今年10月から組み入れられ、原則無料で受けられるようになりました。ロタウイルスワクチンには2種類あり、どちらも経口接種、つまり飲む間に2回接種、または、生後6〜32週間に3回接種が必要で、定期接種として接種できるのは2020年8月以降に生まれた子どもからとなります。まれに、接種後に腸重積症を発症することがあり、接種後のくり返す嘔吐には注意が必要です。

ロタウイルスは極めて感染力が強い事でも知られており、日常生活の中で完全に予防することはとても困難です。わが子を守るためにも、ぜひ受けさせておきたい予防接種です。



経口生ワクチン

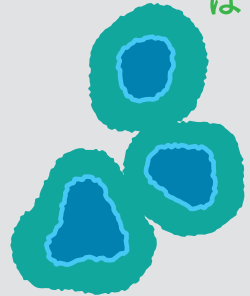
対象となる成人男性は
早めの抗体検査を

風疹

風疹って？

風疹は別名「三日はしか」とも呼ばれる風疹ウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症です。主に発疹、リンパ節の腫れ、発熱などの症状が認められます。成人が発症した場合、重症化することもあります。また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠中の女性が感染すると、胎児が先天性風しん症候群になる可能性があります。

現在は、小学校入学前の児童を対象に、麻疹・風疹混合ワクチンの接種定期接種が実施されていますが、**昭和37**



注射生ワクチン

年4月2日から昭和54年4月

1日の間に生まれた男性は、

過去に公的な風疹ワクチンの接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低くなっています。

そこで、この期間に生まれた男性は**2022年3月31日**までの間、風疹の定期接種の対象者とされ、**抗体検査と、抗体が少ない人の予防接種を公費で受けられます。**風疹ウイルスは非常に感染力が強く、自分がかかるだけでなく、家族や周囲にも感染を広げてしまう恐れも。該当する方でまだ抗体検査を受けていない方は、ぜひ早めに受診しましょう。

子宮頸がんのリスクから
女性を守る予防策

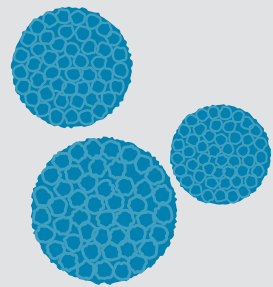
HPV

(ヒトパピローマウイルス)

HPVって？

子宮頸がんの95%以上は、このウイルスの感染が原因です。感染経路は主に性交渉によるもので、男女問わず多くの人がHPVに感染しますが、そのうち一部の女性の感染細胞が、数年〜数十年を経て異常な形に変化し、高度前がん病変や子宮頸がんを発症してしまいます。

現在HPVワクチンには、2価と4価の2種類があります。HPVには150種類以上の型があるのですが、



不活化ワクチン

2価ワクチンは16型と18型、4価ワクチンは16型、18型、6型、11型の感染症を予防します。世界保健機関(WHO)が接種を推奨しており、現在では100カ国以上で公的な予防接種が行われています。

日本での**定期接種の対象者は、11〜17歳の女性。**現在、医療機関で医師からの説明を受けた上で、本人が希望すれば受けることができます。将来の事を考えてこの機会に、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。



人の気持ちに寄り添い 地域の暮らしを支える医療へ

日本医師会の会長職を8年間努め、同会初めてとなる名誉会長に就任された横倉義武さん。現在も、理事長を務める福岡県みやま市の「ヨコクラ病院」を拠点に、医療への取り組みを続けていらっしやいます。そんな横倉さんが、一医療従事者として大切にしてきたこととは。

信頼関係を築きながら 数々の取り組みを実践

「『病む人の心を大切に』。これは、内科医であった父の先輩にあたる九州大学医学部の入江英雄先生にいただいた言葉です。患者さんやご家族をはじめ、周囲に対する思いやりを持ち、その上で知識や技術を積み重ねることが医療のこころだと思っています」

日本医師会の会長としても医療のこころを抱えて責務にあたり、次々に改革を行っていった横倉さん。まずは、全国の開業医や勤務医が加

入する日本医師会の役割を、会員そして国民の方々にしっかりと理解してもらえようと、「日本医師会綱領」を策定。また、経済界と手を携えて健康寿命の延伸や医療費の適正化を図る「日本健康会議」の立ち上げや、地域医療の充実・推進などにも力を入れてきました。

さらに、「かかりつけ医」機能の定着にも尽力。かかりつけ医とは、私たちがなんでも相談できる身近な存在であり、

日本医師会名誉会長 福岡県医師会 顧問

よこ くら よし たけ 横 倉 義 武

1969年久留米大学医学部卒業。90年に医療法人弘恵会「ヨコクラ病院」院長、97年に同院理事長に就任。2010年日本医師会副会長を経て、12年4月から20年6月まで日本医師会会長を務めた後、名誉会長に。17年10月からの1年間は、世界医師会会長も兼任。



第68代世界医師会会長に就任（2017年世界医師会シカゴ総会）



必要な時には専門医や専門医療機関を紹介できるような医師のことです。最新の医療情報を熟知し、地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を備えた医師を育成するために、さまざまな教育や研修制度を実施してきました。

2025年には団塊の世代が全員後期高齢者（75歳以上）となり、超高齢社会に入ります。在宅医療の必要性も高まり、かかりつけ医を中心とした切れ目のない医療・介護が求められていくことを予見した対策と言えるでしょう。

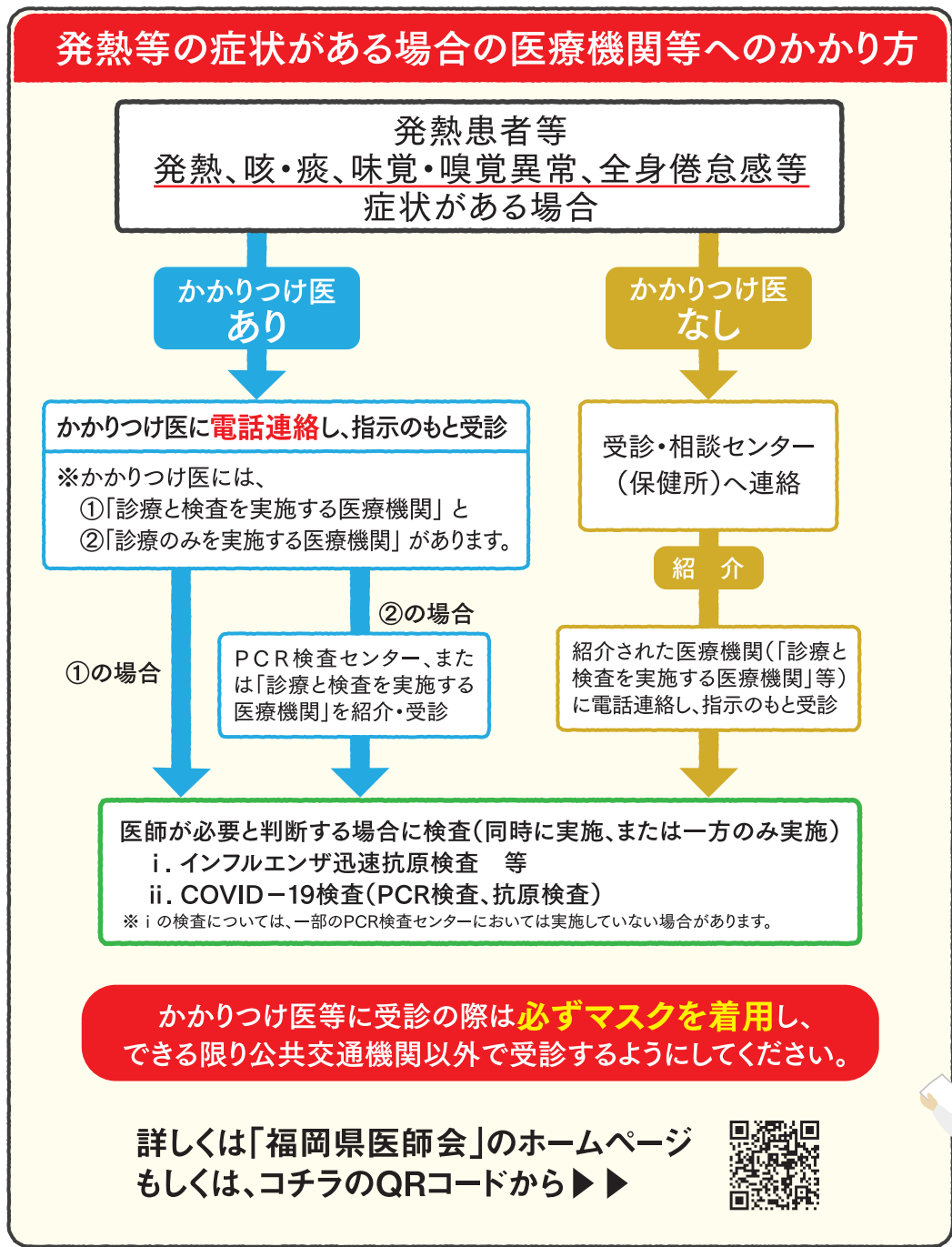
「もちろんお年寄りも元気であるべきです。76歳の私のように（笑）。実際、スポーツ庁が報告した歩行テストの結果では、75歳と79歳の体力・運動能力が、これまでの約20年間で10歳も若返っているんですよ。心身共に元気で、生涯現役で活躍できる社会をつくらなければいけませんね」

よりよい日本の医療を 目指して、社会に提言

無駄を省いた適切な医療を実現させ、明るい社会づくりを。その一心で、今も精励する日々を送っている横倉さん。今後の日本の医療における課題や改善点について尋ねると、「医療のICT（情報通信技術）の活用や、危機管理医学への取り組みは必須だと思います。新型コロナウイルス感染症のような予期せぬ事態は、いつ起こるとも限りません。オンライン診察にも対応できる技術を持つ医師を育成したり、状況に対応するための準備を体系的におこなっていく必要があると思っています」と話してくださいました。

常に初心を忘れず、日本の医療の発展に大きく寄与してきた医師としての人生。その澁刺とした笑顔には、生涯現役を全うする意欲が溢れていました。

発熱等の症状がある場合の医療機関等へのかかり方



かかりつけ医等に受診の際は**必ずマスクを着用し**、
できる限り公共交通機関以外で受診するようにしてください。

詳しくは「福岡県医師会」のホームページ
もしくは、コチラのQRコードから▶▶



「県民のための公開講座」映像配信のご案内

例年9月と1月に開催している県民のための公開講座を今回は映像配信という形でお届けします。



コチラのQRコードを
スキャン▶▶

